

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公開番号】特開2016-80931(P2016-80931A)

【公開日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2014-213466(P2014-213466)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 5 3 5

G 03 G 15/20 5 1 5

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筒形状を有し、周方向に回転する回転部材と、

前記回転部材の端部と接触し、該回転部材の周方向へ駆動される駆動部材と、

前記回転部材の端部に設けられた凹部と、

前記駆動部材の内面に設けられ、前記凹部を通じて前記回転部材の外周面から内周面の方向へ突出し、駆動力を前記回転部材に伝える突出部と、

前記駆動部材の内面に設けられ、該駆動部材の駆動方向の前方から前記突出部に近づくにつれて前記回転部材の外周面の外側から内側へと斜めに突き出した斜面と、
を備えたことを特徴とする駆動構造。

【請求項2】

筒形状を有し、周方向に回転する回転部材と、

未定着のトナー像を表面に保持した記録媒体を前記回転部材との間に挟み込んで加圧することにより、該表面に該トナー像を定着させる加圧部材と、

前記回転部材と前記加圧部材が挟み込んだ記録媒体を加熱するための熱源と、

前記回転部材の端部と接触し、該回転部材の周方向へ駆動される駆動部材と、

前記回転部材の端部に設けられた凹部と、

前記駆動部材の内面に設けられ、前記凹部を通じて前記回転部材の外周面から内周面の方向へ突出し、駆動力を前記回転部材に伝える突出部と、

前記駆動部材の内面に設けられ、該駆動部材の駆動方向の前方から前記突出部に近づくにつれて前記回転部材の外周面の外側から内側へと斜めに突き出した斜面と、
を備えたことを特徴とする定着器。

【請求項3】

前記凹部が前記周方向に間隔を開けて複数設けられ、

前記突出部と前記斜面との組が、複数の前記凹部それぞれに対応して複数組設けられていることを特徴とする請求項2記載の定着器。

【請求項4】

筒形状を有し、周方向に回転する回転部材と、

未定着のトナー像を表面に保持した記録媒体を前記回転部材との間に挟み込んで加圧す

ることにより、該表面に該トナー像を定着させる加圧部材と、

前記回転部材と前記加圧部材が挟み込んだ記録媒体を加熱するための熱源と、

前記回転部材の端部と接触し、該回転部材の周方向へ駆動される駆動部材と、

前記回転部材の端部に設けられた凹部と、

前記駆動部材の内面に設けられ、前記凹部を通じて前記回転部材の外周面から内周面の方向へ突出し、駆動力を前記回転部材に伝える突出部と、

前記駆動部材の内面に設けられ、該駆動部材の駆動方向の前方から前記突出部に近づくにつれて前記回転部材の外周面の外側から内側へと斜めに突き出した斜面と、
を備えた定着器；および

前記記録媒体の表面に未定着の前記トナー像を形成する像形成器；
を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に係る駆動構造は、

筒形状を有し、周方向に回転する回転部材と、

上記回転部材の端部と接触し、その回転部材の周方向へ駆動される駆動部材と、

上記回転部材の端部に設けられた凹部と、

上記駆動部材の内面に設けられ、上記凹部を通じて上記回転部材の外周面から内周面の方向へ突出し、駆動力を上記回転部材に伝える突出部と、

上記駆動部材の内面に設けられ、その駆動部材の駆動方向の前方から上記突出部に近づくにつれて上記回転部材の外周面の外側から内側へと斜めに突き出した斜面と、
を備えたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2に係る定着器は、

筒形状を有し、周方向に回転する回転部材と、

未定着のトナー像を表面に保持した記録媒体を上記回転部材との間に挟み込んで加圧することにより、その記録媒体の表面にそのトナー像を定着させる加圧部材と、

上記回転部材と上記加圧部材が挟み込んだ記録媒体を加熱するための熱源と、

上記回転部材の端部と接触し、その回転部材の周方向へ駆動される駆動部材と、

上記回転部材の端部に設けられた凹部と、

上記駆動部材の内面に設けられ、上記凹部を通じて前記回転部材の外周面から内周面の方向へ突出し、駆動力を前記回転部材に伝える突出部と、

上記駆動部材の内面に設けられ、その駆動部材の駆動方向の前方から上記突出部に近づくにつれて上記回転部材の外周面の外側から内側へと斜めに突き出した斜面と、
を備えたことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 4 に掛かる画像形成装置は、
筒形状を有し、周方向に回転する回転部材と、
未定着のトナー像を表面に保持した記録媒体を上記回転部材との間に挟み込んで加圧することにより、その記録媒体の表面にそのトナー像を定着させる加圧部材と、
上記回転部材と上記加圧部材が挟み込んだ記録媒体を加熱するための熱源と、
上記回転部材の端部と接触し、その回転部材の周方向へ駆動される駆動部材と、
上記回転部材の端部に設けられた凹部と、
上記駆動部材の内面に設けられ、上記凹部を通じて前記回転部材の外周面から内周面の方向へ突出し、駆動力を前記回転部材に伝える突出部と、
上記駆動部材の内面に設けられ、その駆動部材の駆動方向の前方から上記突出部に近づくにつれて上記回転部材の外周面の外側から内側へと斜めに突き出した斜面と、
を備えた定着器；および
上記記録媒体の表面に未定着の上記トナー像を形成する像形成器；
を備えたことを特徴とする。